

令和4年度 西伊豆町教育委員会第3回定例会（議事録）

- 1 開催日 令和4年6月15日（水） 15:00～16:03
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館 1階 講義室
- 3 出席者 鈴木秀輝教育長、高橋浩委員（職務代理）、眞野有史委員、影山やえみ委員、
長島宗紀委員
[事務局 眞野隆弘、朝倉通彰、山本みち代]
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし

教 育 長：本日の出席者は5名です。過半数に達していますので、ただ今から令和4年度第3回の定例会を開催いたします。まず、議事録の承認についてですが、令和4年5月18日開催の第2回定例会の議事録については、私と高橋委員が確認し署名いたしましたので、ご承認いただいてもよろしいでしょうか。

（委員：全員異議なし）

教 育 長：ありがとうございます。続きまして、今回の議事録署名委員ですが、影山委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

（影山委員：了解）

教 育 長：ありがとうございます。それでは、議題に入ります。日程3の協議になります。令和3年度西伊豆町教育委員会の自己点検・評価報告書の内容についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

眞 野：それでは、日程3の協議をご覧ください。こちらは、西伊豆町教育委員会評価委員会設置要綱第2条の規程に基づき、西伊豆町教育委員会の自己点検結果を評価委員に提出するため、別紙「西伊豆町教育委員会の自己点検・評価報告書」の記載内容についてご意見をいただきたく提案するものでございます。別添の「令和3年度西伊豆町教育委員会自己点検・評価報告書（案）」の1ページをご覧ください。「自己点検・評価の考え方」ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行うものであります。自己点検及び評価では、西伊豆町の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けてございます。「教育委員会の活動」では、教育委員会会議や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行っております。「教育委員会が管理・執行する事務」については西伊豆町教育委員会の関連規定に則り、教育委員会が責務を果たすべき事項について自己点検を行います。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「令和3年度西伊豆町教育行政の基本方針」に示されている施策を基に点検・評価を行っております。この後、担当からご説明いたしますので、大項目ごとに皆さんのご意見をいただきたいと思います。

教 育 長：それでは、1 ページ目の大項目の（１）「教育委員会の活動」について、説明をお願いします。

真 野：それでは1 ページ目をご覧ください。説明に入る前に、資料の訂正をお願いしたいと思います。自己点検評価の考え方の欄の2 行目と6 行目に「令和2 年度」と記載されていますが「令和3 年度」に訂正をお願いしたいと思います。それでは、項目ごとに説明させていただきますが、主に変わった点だけご説明させていただきますのでお願いしたいと思います。まず1 番上段、（１）の教育委員会会議の運営改善のところになります。教育委員会会議の開催回数ですが、今回、定例会を11回の開催ということで、そちらの数字の訂正をしてございます。あとは、会議では規則等の改正のほかとし、昨年は規則の制定等がありましたが、今回は改正のみでしたので、こちらの言葉を訂正させていただいております。変更点はその2 点となっております。評価につきましては、前年度と変わりなくA評価としております。次の教育委員会会議の運営上の工夫については、こちらは前年度と内容は変わっておりませんので、評価も同じです。次に教育委員会会議の公開の状況です。こちらにつきましては文言を変えさせていただきまして、開催告示は開催の1 週間前までに、開催日と協議案件を告示しました。会議の傍聴者はございませんでしたという内容に変更させていただきました。評価はAとさせていただきました。次の議事録の公開、広報、公聴活動の状況につきましては、点検・評価の欄の「令和2 年度」を「令和3 年度」に変更させていただきました。その他の内容は変えておりません。こちらと同じくA評価とさせていただきました。次に教育委員会と事務局との連携につきましては、前年度と同じ内容ですので、A評価とさせていただいております。次の教育委員会と首長との意見交換の実施につきましては、内容のところで、2021年西伊豆町教育行政の基本方針、2021年西伊豆町教育環境整備の「2021年」を「2022年」に変更させていただいております。評価はA評価とさせていただきました。次に研修会等での自己研鑽につきましては、「令和2 年度」を「令和3 年度」に変更させていただきました。内容は、前年度と同じになっております。次に園・学校訪問、所管施設の訪問につきましても、内容と評価は前年度と同じ内容になっております。1 ページ目の内容の説明につきましては、以上になります。

教 育 長：何かご意見、ご質問はございませんか。

教 育 長：それでは、2 ページの大項目の（２）「教育委員会が管理・執行する事務」についてをお願いします。

真 野：それでは、2 ページをご覧ください。1 番上の教育委員会に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関するのですが、令和4 年度教育行政の基本方針につきましては、第10回の定例会において協議をしておりますので、そちらを記載しております。件数は1 件となります。次に（２）の項目ですが、件数は2 件で、内容は規則の改正が1 件、規程の改正が1 件となっております。令和2 年度につきましては、9 件で中学校の統廃合に係る規則や要綱等がございましたので、2 年度は多かったということ状況です。次に（３）の項目ですが、令和3 年度の実績はありませんでした。すみません。こちら1 件と記載されておりますが、ゼ

ロ件に訂正をお願いしたいと思います。次の（４）の項目ですが、処理件数が２件で令和３年度の教育委員会事務局の人事異動につきまして、第１回と１１回の定例会で報告させていただきました。次に（５）の項目ですが、件数は１件で令和２年度の自己点検・評価を行い、９月の町議会定例会で報告しております。次に（６）の項目ですが、件数０件で特に意見の申出はございませんでした。次に（８）と（９）につきましては、こちらの前年度を同様、処理件数はありませんでした。次に、（１０）の項目ですが、１件ということで、社会教育委員会委員の委嘱を行っております。次に（１１）の項目ですが、令和３年度に通学区域を変更した実績はありませんでした。すみません。こちら１件と記載されておりますが、ゼロ件に訂正をお願いします。最後に（１２）の項目ですが、令和３年度に一般方針は定めておりませんが、教頭研修会、教科研修会、教務主任研修会、生徒指導研修会等を行いました。２ページにつきましては以上になります。

教 育 長：何かご意見、ご質問はございませんか。

教 育 長：それでは、３ページの大項目の（３）の「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」ですが、ここは、項目がたくさんございますので、小分けにしたいと思います。まず、中項目の（１）の「確かな学力と自立する力を育む教育」について、事務局から説明をお願いします。

山 本：それでは、３ページをご覧ください。（１）確かな学力と自立する力を育む教育の２番目、情報教育の推進です。ＧＩＧＡスクール構想により公立学校情報機器補助金を活用して、一人一台のタブレット端末整備を完了しております。授業方法など工夫改善を行いました。また、ＩＣＴ活用研修会を開催し、アプリの活用方法など検討したことから、Ａ評価とさせていただきました。次に国際教育交流の充実につきましては、昨年度に続き中学生による国際交流は、コロナ禍で実施出来ませんでした。ＪＥＴプログラムによるＡＬＴやＣＩＲの雇用は、引き続き継続しましたが、本来３人体制で英語教育を予定しておりましたけれども、コロナ禍で２名の来日が延期されたため、ＡＬＴが不足する間、西伊豆町、松崎町在住の外国出身の方に勤務していただき、事業を進めたという形になっております。事業が予定どおり実施出来なかったため、評価は、Ｂとさせていただきました。次に一貫教育の推進につきましては、松崎高校と西豆２中学校の連携型中高一貫教育ですが、平成３０年度から松崎高校に進学する成績優秀者に対し、給付型の奨学金を給付する事業を実施しており、令和３年度におきましては、１２名に給付し、松崎高校へ進学しています。

真 野：次に、ちょっと戻っていただきまして、複式学級への対応ですが、賀茂小学校の２、３年生が複式学級になっておりますので、そちらを追記させていただいております。次に、その下の家庭教育の充実ですが、令和３年度も令和２年度に引き続き、コロナ禍により活動が制限される中という形で文章を変更させていただいております。３ページの説明は以上です。

教 育 長：何かご意見、ご質問はございませんか。

教 育 長：それでは、４ページの中項目の（２）（３）について、説明をお願いします。

真 野：それでは、地域環境づくりの推進ですが、前年度はＢ評価でしたが、Ａ評価に変

更させていただいております。令和3年度もコロナ禍により、各事業が中止となる中、青少年問題協議会では、夏季冬季の街頭指導や青少年健全育成標語の募集掲載などを行い、地域全体で、青少年の健全な心身を育む環境づくりに心がけました。また、令和3年度より意見体験発表会に代わる事業として、子ども議会を開催するため、小学生5、6年生を対象に議場見学説明会を開催しました。コロナ禍でありましたが、新たな事業を展開しておりますので、A評価とさせていただきました。次に、青少年活動の推進ですが、こちらは全文を変更させていただいております。わんぱくクラブは、町内で新型コロナウイルス感染者が確認されたため、夏季から秋季に延期して、西天城高原で開催することが出来ました。町子ども会球技大会及び郡大会は、コロナ禍により中止となりました。今までドッジボール大会が競技大会の種目でしたが、少子化及び保護者の負担が大きいため、賀茂郡下5町で意見を出し、令和4年度からボッチャ大会に変更となりました。わくわく体験村子ども体験会は、係船釣り、SUP体験、シーカヤック、シュノーケリングの4回の活動を計画しましたが、新型コロナウイルスの関係で3回の活動になりました。「。」が二つになっておりますので一つ削除してください。また、毎年田子地区で実施している通学合宿は、コロナ禍により中止となりました。という文書にさせていただきました。次に人材の育成ですが、前年度はC評価でありましたが、今年度はB評価に変更させていただいております。自らボランティアとしての資質や能力を高めようとする中学生を対象に、町内事業所等でのボランティア活動を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染対策のために実施出来ない期間がありました。ということで、令和3年度につきましては、一定期間ではありますが、開催できましたので評価をCからBに変更させていただいております。私からの説明は以上です。

山 本：それでは、（3）の安全、安心を確保し、健やかな体を育む教育についてです。はじめに学校体育、部活動の充実に関しましては、コロナ禍で大会や練習試合などの回数は減少しましたが、引き続き大会への補助であるとか、派遣費補助を行い、保護者等への送迎負担の軽減に繋がりました。次に、魅力ある給食の提供と食育の推進ですが、給食への地場産品の活用補助を行ったことから、A評価とさせていただきました。次に、安全安心な環境づくりですが、平成30年度に導入した緊急連絡システムすぐメールは、町内の各園学校から保護者へ様々な緊急的な連絡に活用されました。また、不審者情報があつた際には、すぐメールによる注意喚起を行いました。4ページは以上です。

教 育 長：何かご意見、ご質問はございませんか。

真 野：今回、B評価からA評価に変更した項目がございましたので、その点についてご意見があればお願いします。人材の育成については、C評価からB評価にさせていただきました。

教 育 長：意見が無いようなので、それでは、5ページの中項目の（4）（5）について、説明をお願いします。

朝 倉：それでは（4）の教育環境の整備と教職員の資質向上の中の園、学校等の再編及び老朽施設の修繕設備整備について、私の方から説明させていただきます。

まず、学校等の再編を円滑に進めるために、小中一貫校設置準備委員会を6回開催しました。主に、小・中学校は、今後どんな学校を目指すのかというような基本構想などについて、協議を行っております。さらには、園や教職員の先生方を対象にウェブで説明会を開催しました。また、各学校長と教育委員会事務局の職員で、土肥の小中一貫校への視察研修を実施しております。認定こども園の建設地ですが、事務局が提案するパターンと議員さんからの提案を基に、各こども園の保護者と意見交換会を行っております。小中一貫校につきましては、旧西伊豆中学校跡地に建設する計画で進めてまいりましたが、建設予定地の裏山が土砂災害特別警戒区域に指定されることが判明したものですから、その旨を議会へ報告するとともに、未就園児から小学生までの保護者を対象に報告会を開催し、ご意見を伺っております。建設候補地を検討するに当たり、議会全員協議会におきまして、静岡大学の小山教授を招聘しまして、建設候補地の災害リスクなどについて説明をしていただきました。その説明を聞いて、協議をしていただいた結果、小中一貫校と認定こども園を先川地区へ集約する案についても、検討するということで進めてきたということでございます。施設整備関係につきましては、旧西伊豆中学校施設の解体工事及び進入路工事を計画どおりに完了をしております。小中一貫校と認定こども園を先川へ集約する案を検討するために、地質調査業務と測量業務を発注しております。小中一貫校の校舎及び屋内運動場の設計業務につきましては、契約後に小中一貫校の建設地が変更となる可能性が生じてきておりますので繰越明許とさせていただきます。なかなか進まない状況で評価をするのは非常に心苦しいわけですが、B評価とさせていただきます。この辺につきまして、ご意見を伺えればと思います。次に、老朽施設の修繕整備ですが、昨年と文言も評価も変えておりません。基本的に学校統合が今後予定されている中で、大規模な予算をかけての修繕というのはなかなか難しいだろうということで、そういったものは控えておりますけども、すぐに支障を来すもの、緊急性をするものにつきましては、学校等の予算でその都度修繕を行っているということで、A評価とさせていただきます。私からは以上です。

山 本：次に、特別支援教育の推進と連携についてですが、町では、特別な支援が必要な子どもに一貫した支援を行うため、園や学校に特別支援員を配置しています。仁科小学校については、子供の人数も多いということで人数を増やしております。また、特別支援教育巡回相談員による巡回相談は、17回実施しました。昨年度に引き続きA評価とさせていただきました。次に、児童生徒の心のケア・教職員の指導充実ですが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、保護者も含め日常的なサポートを行っております。また、適応指導教室では、学校とも連携を図りつつ、学校とは違ったアプローチもしながら支援を行い、よりきめ細やかな対応を心掛けました。令和3年度には、いじめ問題対策連絡協議会を2回、うち1回は書面会議として開催し、各校でのいじめの現状などについて、協議しました。A評価とさせていただきました。

真 野：次に、1番最後のところになります。芸術文化活動の推進になります。こちらA

評価とさせていただきます。内容ですが、活動支援として11団体中、活動出来た4団体に補助金を交付しました。各地区においても高齢化や人口減少による後継者不足が問題となり、令和3年度には宇久須のさるっ子踊りと安良里子ども会が解散となりました。5ページは、以上です。

教 育 長：何かご意見、ご質問はございませんか。園・学校等の再編についてなどご意見がございましたらお願いします。

高橋委員：評価をBに決めた根拠は何ですか。計画については、設置に向けて準備を進めている訳だよね。それで先川地区で検討を進めていますよね。進めている段階の中で、特に達成が70%で「概ね達成している」と「達成している」との違いだけど、その準備として1年間いろいろやってきている訳で、B評価にした根拠がわからない。

朝 倉：建設場所などなかなか右往左往している状況で、方向性が定まらない中で、今やれることはやっているつもりですけども、高橋委員がおっしゃってくれたように、今やれることが達成しているのであれば、A評価でも良いと思います。

高橋委員：令和3年度として、やるべきことは順調にやってきた訳だよね。計画に対して、やったことというのは、達成できたと評価して良いのでは。数字がないから評価しにくいけど、教育委員会としては、やることはやっていると、再編に向けて1年間、こういう形で取組ました。やるべきことはやりましたでA評価で良いのでは。

教 育 長：それでは、園・学校等の再編については、A評価にさせてもらってもよろしいでしょうか。

(委員：全員異議なし)

長島委員：児童生徒の心のケアのところで、適応指導教室は今どれぐらい、やっているのか実績を教えてください。

山 本：適応指導教室につきましては、利用者は4名で田子の公民館で実施しています。毎日のように利用している子どもと時々利用する子と様々です。

長島委員：利用者は、小学生ですか。

真 野：小学生と中学生の両方です。子どもの状況によって、出席状況が変わりますが、延べ利用者は4名になります。

教 育 長：その他、ありませんか。それでは、6ページの中項目の(5)(6)について、説明をお願いします。

真 野：それでは(5)の芸術文化団体の育成支援ですが、こちらは、昨年度はC評価でしたが、令和3年度はB評価とさせていただきました。内容につきましては、協会各団体において、工夫を凝らしできる限りの活動をしました。その中で、令和3年度は、べにばな会という華道クラブが新規加入しました。陶芸クラブ2団体が1団体に集約されました。引き続き会員の確保に向けて支援をしてきたということで、C評価からB評価にさせていただきました。次に、文化イベントの充実ですが、こちらB評価とさせていただきます。文化講演会は、コロナ対策を心掛けて、谷本道哉さんを講師に招き、「いつまでもいきいき元気に、健康寿命を延ばす簡単筋トレ法」を開催しました。文化協会主催の文化展及び音楽

芸能発表大会は、コロナ禍により中止、子ども演劇鑑賞教室は、厳重なコロナ対策を行い、賀茂小学校において実施することが出来ました。実施出来たもの出来ないもの、それぞれありましたので、B評価にさせていただいております。次に、図書資料の充実になります。こちらはA評価とさせていただいております。令和3年度末現在の蔵書数ですが、2万5,809冊を管理しています。他市町の図書館と情報交換を行い、図書等を相互貸し借りにより、利用者の利便向上に努めました。次に、図書貸出数増加への取り組みですが、こちらはB評価からA評価に変更させていただいております。内容ですが、子ども読書アドバイザーによる読み聞かせ会は、コロナ禍の状況を見ながら、開催出来た日もありましたが、実際にコロナ感染を懸念してか参加する子どもさんがいませんでした。いつも参加してくれるお子様も、ちょうど都合が合わなかったということもあって不参加という状況でありました。実際には計画どおり行いましたので、A評価とさせていただきました。令和3年度の図書貸出冊数は、1万1,339冊となり、昨年と比較して447冊増加しております。次に、姉妹町との交流促進ですが、こちらは、前年度と同様C評価とさせていただいております。令和3年度も令和2年度に引き続いて、全て姉妹町友好事業が中心となりましたので、C評価とさせていただいております。次に、(6)のスポーツレクリエーション活動の充実になります。こちらはB評価とさせていただきました。軽スポーツ教室は、春秋ともにパラリンピックの正式種目で、誰でも参加しやすいスポーツとしてボッチャを取り入れ実施しました。また、地区対抗バレー大会や夕陽の郷マラソン大会は、中止となりました。次に、その二つ下の指導者の育成確保になります。こちらはC評価とさせていただきました。令和3年度現在で4団体、指導者10人中8名が、有資格者となっております。実際に活動している団体は、バレーボール1団体となっており、厳しい状況になっています。今後、新たなスポーツの指導者の掘り起こしが必要となってきます。次に、組織体制の整備ですが、こちらはA評価とさせていただきました。スポーツ推進委員等各団体には、コロナ禍の中、感染対策を施しながら活動することが出来ました。各団体とも町の行事等には、積極的に参加協力し、相互の連携を図っています。次に、交流推進体制の整備、支援ですが、こちらはB評価とさせていただきました。町体育協会が7月に企画したビーチバレーボール大会及びビーチ綱引き大会は、中止となりました。こちらは、町内外の交流事業として計画しましたが、令和2年度に引き続いて中止となりました。6ページにつきましては、以上です。

教 育 長：何かご意見、ご質問はございませんか。

教 育 長：それでは、7ページの中項目の(7)(8)について、説明をお願いします。

真 野：それでは(7)の学校と地域の友好促進ですが、こちらはB評価とさせていただきました。積極的に地域人材の活用、通学合宿等、地域での体験活動を実施し、その学習の様子を地域に発信する計画をしましたが、コロナ禍により中止となりました。次に、文化財の保護保存ですが、こちらはA評価をさせていただきました。文化財保護法に基づき、県教育委員会と連携しながら、伊豆西南海岸名勝地内の景観保護に努めました。申請件数は、11件でした。次に文化財等の活用です

が、A評価とさせていただきます。昭和62年度に策定された名勝伊豆西南海岸保存管理計画を令和2年度から3年度2か年にわたり、西伊豆町と松崎町と南伊豆町協働で活用計画策定委員会を組織し、保存活用計画の策定を進め、令和3年度に完成しました。次に、文化財保護思想の普及ですが、こちらはB評価とさせていただきます。文化財総覧を活用し、文化財保護の指導、普及に努めました。また、令和3年度に策定した名勝伊豆西南海岸保存活用計画を今後も活用していきます。次に、男女共同参画の意識改革ですが、こちらはC評価とさせていただきます。女性団体の減少により、女性の活躍する場が減少していくことが懸念されます。令和3年度は、平成21年に策定された西伊豆町男女共同参画推進プランを見直すための方策を事務局内で話し合いました。今年度につきましても、予算化するためのスケジュール等を現在考えているところでございます。令和3年度につきましては、事務局内での話し合いまでしか出来ませんでしたので、C評価とさせていただきます。次に、女性団体への支援育成ですが、こちらは、B評価とさせていただきます。現在は、2団体で仁科地区と安良里地区のみ、活動しているということで、B評価とさせていただきます。私からの説明は以上です。

山 本：それでは、(8)の子育て支援の充実、子ども居場所づくりの幼児期における子育て支援につきまして、町内の2箇所、延べ469日間、子育て支援センターを開設し、2,917人の利用がありました。コロナ禍でありましたが、利用人数や利用時間を制限することもありましたけれども、昨年度に比べて利用者は増加しました。また、支援センターでは、利用促進のため、新たにSNSのラインを活用した情報提供を行っております。評価はA評価とさせていただきます。続きまして、小学校における子育て支援ですが、学童保育を実施している放課後児童クラブは、年間236日間開所し、登録児童は41名、延べ利用者数は1,674人でした。1月には、保護者向けのアンケート調査を実施し、保護者のニーズ把握などを行っており、A評価とさせていただきます。

教 育 長：それでは、7ページについて、何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

真 野：1番最後のところの小学校における子育て支援につきましては、B評価からA評価に変更しております。

高橋委員：男女共同参画事業は、毎回C評価だね。町民へのPRは、どのようにしているのか。

真 野：男女共同参画につきましては、国の方から週間や月間など、いろいろ事業がありますので、PR活動として広報西伊豆の生涯学習の欄に、週間等の情報は載せております。町の計画につきましては、平成21年から見直しがされていないということもありまして、そちらの方を今後見直さなければならないということで、令和3年度から検討していたところではありますが、なかなか進まない状況でありました。令和4年度は、しっかりと計画・目標を作って、どういった組織で話し合いをするのかとか、そのために外部委託が必要なのか、も含めて全体的なスケジュールを立て、来年度の予算化するものは予算化し、委員会が必要であれば委員会

を立ち上げるなど、予算化するための協議は、10月ぐらいまでにして、令和4年度は進めていきたいと思います。令和3年度は、強調週間などの普及活動は行いましたが、計画の部分が進んでないということで、C評価とさせていただきました。

高橋委員：単年ごとに、推進計画をどこまで進めるか目標を立てて、それについて評価するとか、その推進プランを単年ごとに、段階踏んでやってこれたら、単年度毎の目標を定めて、そうすると評価し易い。プランを達成するまでは、C評価になってしまう。評価の見直しを具体的にすれば、B評価だとか、やはり、C評価は、やっぱり改善しなければならないよね。

真 野：このC評価は、ここ数年ずっとCですので、皆さんからもご指摘をいただいておりますので、改善をしなければいけないということで、なかなか進まなくて申し訳ございません。令和4年度は、係の目標として入れてあります。

高橋委員：ここまで実施すると目標を立てた方がいいよね。

真 野：4年度につきましては、今後のスケジュールを立てて、何年の何月までに何をやっていくかというところ、また予算をどうするかというところを固める形をとりたいと思います。

高橋委員：そうしたら、それに対する評価をすればいいよね。そこまでいくといいよね。

教 育 長：その他、ございませんか。

長島委員：よろしいですか。文化財保護思想の普及というところで、B評価ということとA評価じゃないというところがわかりにくいんですが、この辺はどういう判断でしょうか。

真 野：実際に、広報西伊豆を活用して文化財について、いろいろお知らせしているんですけど、もっと町民の方々に文化財とは、こういったものがあるって情報を知ってもらいたいとの活動の中で、旧田子中学校の方に町の文化財等を展示しております。文化財保護審議委員さんの活動の中でも、それを活用して町民や子ども達に説明会を計画しておりました。令和3年度は、実際にやる事が出来なかったということもあって、B評価とさせていただきました。令和4年度につきましては、文化財総覧という冊子も出来ましたので、冊子と現物を見ていただいて、町民や子ども達に案内していただけるというお話をいただいておりますので、そういった活動ができればA評価になっていくと思います。

教 育 長：その他、ございませんか。それでは、8ページの全体評価について、説明をお願いします。

真 野：それでは、全体評価につきましては、本日、お配りしました資料をご覧ください。1つ目は、教育委員会の活動についてです。こちらは昨年と活動内容は変わっておりませんので、昨年と同様のコメントにしております。2つ目は、教育委員会が管理執行する事務です。こちらの方も、昨年と同じ記載内容にしております。3つ目は、教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務ですが、こちらは全文読み上げたいと思います。西伊豆町教育大綱及び西伊豆町教育行政の基本方針に基づき、事務・事業を執行しました。教育委員会として最重要課題の一つである学校等の再編を円滑に進めるため、小中一貫校設置準備委員

会を6回開催し、主に基本構想などについて協議しました。また、教職員説明会や土肥小中一貫校への視察研修を実施しました。認定こども園の建設について、当局案と議員からの提案地を基に園の保護者と意見交換を行いました。小中一貫校については、旧西伊豆中学校跡地に建設する計画で進めてきましたが、建設予定地の裏山が土砂災害特別警戒区域に指定されることが判明したため、議会へ報告するとともに未就園児から小学生までの保護者を対象に報告会を開催し、ご意見を伺いました。建設候補地を検討するに当たり、議会全員協議会において静岡大学の小山教授を招聘し、建設候補地の災害リスクなどについて説明していただきました。協議の結果、小中一貫校と認定こども園を先川地区へ集約する案についても検討することになりました。施設整備関係については、旧西伊豆中学校施設の解体工事及び進入路を予定どおり完了しました。小中一貫校と認定こども園を先川へ集約する案を検討するため、地質調査業務と測量業務を発注しました。小中一貫校の校舎及び屋内運動場の設計業務については、契約後に小中一貫校の建設が変更となる可能性が生じてきたため、繰越明許としました。学校教育関連では、高校生通学費助成や松崎高校給付型奨学金支給など、子どもの教育にかかる保護者の経済的な負担を軽減するための施策に取り組みました。また、補助金を活用した1人1台のタブレット端末導入により小中学校でのICT機器を活用した学習の実施を図りました。中学生を対象とした国際交流事業は、コロナ禍により中止となりましたが、子育て支援事業、防災教育事業、不登校対策事業、複式学級対策事業、特色ある教育の推進事業などの西伊豆町独自の事業推進も積極的に取り組みました。社会教育関連では、専門的な知識・技術を有する事業においては、アウトソーシングするなど、既存事業を検証しながらより効果的な事業となるように改善を図りました。また、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、わくわく体験村、わんぱくクラブ、文化講演会など、各種事業を遂行しました。課題としては、少子高齢化が急激に進む中で、各種年齢層のニーズを把握し、新たな事業展開を模索する必要があると考えています。また、当町が直面する様々な課題への柔軟な対応も不可欠ですが、限られた予算の中でより教育効果を高めるための工夫・改善が必要であると考えています。全体として、新型コロナウイルス感染拡大対策を取りながら各種事業を進めてきましたが、昨年度に続き実施の判断に苦慮しました。今後は、これまでの教育のあり方も変化を余儀なくされています。その変化に遅れることなく、先を見通した新たな教育のあり方を模索する必要があります。という形で、全体の評価をまとめさせていただきました。8ページは以上です。

教 育 長：質問、ご意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。無いようでしたら、指摘事項、5ページの（4）の教育環境の整備と教職員の資質向上の園・学校等の再編のところをB評価からA評価ということで、その部分を修繕し、教育委員会評価委員会に提出をしてください。

真 野：この後ですね、再チェックした時に誤字雑事がありましたら、大きな変更はで

きないもので、誤字雑事だけ訂正させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員：全員異議なし)

高橋委員：8ページの最後のところで「必要があります。」だとその次に文言の続きがあるように思われるので、「模索することになりました。」とか、「ました。」の方が報告書としていいのでは。

真 野：その部分は、「何々します。」という形で言葉を修正したいと思います。

教 育 長：よろしいでしょうか。また、文言とかおかしいところがありましたら、事務局へ連絡をお願いします。

真 野：もう一回見て、何かあれば連絡をいただければと思います。A、Bとか評価の部分は変えられないと思いますので、来週の24日までに連絡をいただければと思います。

高橋委員：評価委員は、まだ決まっていないのですか。

教 育 長：まだ、決まっておりません。

教 育 長：本日の議事案件はすべて終了いたしました。以上をもって令和4年度第3回の定例会を終了します。皆様、お疲れ様でした。